

## 支部企画登山

○令和3年4月18日(日)

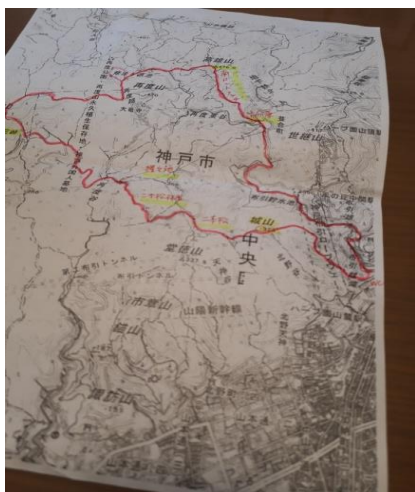
市民山の会中止に伴う代替例会

布引支部企画／保久良支部同調 小堺 忠史

写真一部提供 吉野 宏

コロナ禍と言われ、早1年が過ぎるが、一向に収束する兆しが見えない中、感染拡大防止の生活に疲弊する雰囲気とは関係なく季節だけは確実に春をむかえている。予定されていた行事が軒並み中止となる中、4/18(日)に予定されていた「市民山の会月例登山」も中止となり、当番山筋である布引支部さんが企画されていた「**春色に染まる市街地の背山を訪ねる**」がコースを変えて代替例会とされていたので、保久良支部も布引支部に同調例会とさせて頂き参加しました。

8:30に新神戸駅集合。参加者全員検温、体調に問題ないこと確認し、出発。登山で感染したら目も当てられないので、吉野会長得意のマイナーで、且つ、最盛期のコバノミツバツツジが咲いているルート歩いた。



本日のコース  
地形図

新神戸駅のガード下を過ぎて、少し上方に新設されたトイレ前で、吉野会長に本日のルートの

説明を受け、新設されたトイレで用を済ませ、いきなりの直登で城山へ向かった。

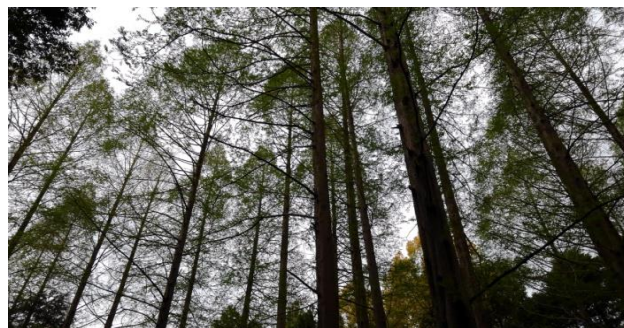
例年であれば、この時期コバノミツバツツジが満開であるが、今年は早く暖かくなった影響で、花より先に葉っぱに栄養が回ってしまい、あまり花が咲かなかったとのことであった。元来、花より団子の私ですが、実際に歩いてもコバノミツバツツジがあまり咲いてなく、少し残念でした。城山(海拔323m)にて、吉野会長より地図の

説明を受け、説明では、この辺り、昔は樹木がなく、城山山頂から真西に淡路島北部の最高峰 妙見山(525.4m)を望めたそうです。吉野会長は、A3用紙を数枚継ぎ足し、城山と妙見山の位置関係を示した地図を城山城跡碑のまえて広げ、確認、説明頂いた。今では城山山頂辺りは樹木に覆われていて確認できないが、いつもながら吉野会長の説明に合点。



城山(瀧山城跡碑)にて

城山城跡碑まえて集合写真を撮り、出発。城山を後にし、二本松分岐～狸々池(ショウジョウイケ)～二本松林道～鍋蓋尾根(縦走路越)～再度公園東尾根～南ドーントリッチ～高雄山～市ヶ原～水源地のルート歩き、見晴らし台で無事解散となった。解散直前、またもや吉野会長の無茶ぶり、今回のレポートを書くことになる……。その心づもりもなかったので写真もメモも取ってなかったので、吉野会長が仰られた「今日、歩いた軌跡を確認してください。」の最後の挨拶を思い出し、帰宅後、風呂上がりの一杯の前に本日の軌跡を辿った。



二本松林道・メタセコイアの森

いい加減な記憶と当日配られた地図だけでは難しく、六甲山縦走地図、スマホを活用し、軌跡を



上/南ドーントリッジへと続く尾根筋  
下/ここからの再度山の眺めは最高！！



辿った。自分の記憶が合っているかは不明ではあったが、一定の満足感を感じながら風呂上がりの一杯を飲んでいると、保久良の〇坂さんよりスマホアプリによる本日の軌跡が送られて来たので、すぐに回答合わせをすると、ピッタリ合っていたことに更に満足感を覚えた。



昨年4月に撮った再度山のコバノミツバツツジ

今回、山歩きの軌跡を辿ったのは、若干、やらされ感があったが、結果的に楽しいものとなったので、皆さんも一度、試してみてもは如何かと感じた次第です。

最後に新型コロナとの闘いに、まだまだ先が見

えませんが、ルールを守り、明るく、楽しく、仲良く、前向きに参りましょう！！←！！は、おじさんっぽいとテレビで言っていました。(笑)

天候 晴れ  
参加者 19名

追記

〇さんから送られてきた本日のスマホコースアプリ

